

一般質問 Q & A

町政を問う

今回8人が質問し、その要約を掲載しました。



小松崎三夫 議員

Q 平成17年に金長町政が誕生し、小松小学校屋内運動場、水戸市消防本部北消防署城里出張所の設置、七会徳蔵地区への水道事業、国道123号バイパス用地買収の着手、下水道、農業集落排水事業の推進、又、小学6年生による北海道ふれあいの船、デマンド交通等の住民福祉等についてきめ細かい対応がされてきたと痛感しているが、ご自身の評価をお聞かせ頂きたい。

A 議会を初め町民皆様のご理解ご協力を頂き、それぞれ手がけることが出来た。しかし、町政運営の最大の問題点は、財政難と借入金残高をどう減らして次世代への負担を減じていくかであると思う。平成19年度末には、一般・特別会計合わせ、12億円の減少、公園墓地の借入金金は、本年9月末には7億円の返済が終わり、合わせて19億円の借入金圧縮が出来たが、評価については、町民皆様ができるべきものと思っている。

Q 財政再建と町行政の活性化策について、引き続き町政を担当し町民の為に働く意思があるのか、ズバリ回答願いたい。

A 城里町の良好なる環境を生かし、町の安定と発展の為に利害関係を排除し、公平公正な町政を推進するという哲学を持ち、再出馬の方向で検討してまいりたい。



三村由利子 議員

AQ 一般競争入札と指名競争入札の区分はどうあるのか。
建設工事及び委託業務の契約事務に関する規程により区分しているが、工事の特性・合理性で一般競争入札によらないこともある。

AQ 合理的な理由とはどんな時なのか。

一般競争ではなく、指名競争入札できる500万円以上のコンサル業務が主なもの。

AQ 公正な競争心・透明性を確保する一般競争入札にふみきれない部分はなぜなのか。

委託の特性・合理的な理由がある時は指名競争入札で執行している。

AQ 県では物品の購入においても一般競争入札を実施し入札契約制度の改革を実施しているが、町はどうか。

物品等入札・コンサル業務全般についても一般競争入札を考えなければならぬ。

AQ 温暖化対策、町としての取り組み状況は。

広報キャンペーン・フォーラム等で啓蒙活動を進める。

AQ マイバックの使用・電力消費の抑制・低燃費車の導入・エコドライブ・つる科植物による緑のカーテンの推奨と具体的対策の推進を。

推進員さんの力を借り推進する。

AQ 太陽光発電に補助金の拡大を検討しては。

町が個々に補助するのではなく国策としてやるべきで、機会をとらえ主張してまいる。



玉川 台俊 議員

AQ 町長選挙再出馬の意向と聞くが、今後の町政運営に戸市との合併についての考えは。

広域行政は進めるが単独での合併の考えはない。

AQ 水道料金格差解消は運営審議会を町長が招集しなければ進展しない。合併後3年半が経過するが、なぜ格差が解消されないままなのか。

21年度に提案し審議を頂く段取りを進める。

AQ 子供の医療費助成制度はサービス向上や事務の簡素化のためにも現物支給すべきではないか。

役場への申請が不要となる医療機関での支払いで済むよう来年4月からの制度開始を目指す。

AQ 原油高騰のあおりで諸物価が高騰し生活環境が厳しい状況にある。冬に向かい特に高齢者や経済弱者世帯に対し灯油購入補助等の経済的救済措置が必要ではないか。

社協を通じメリハリをつけた支援を検討する。

AQ 今年から学力向上のため八千代町が中学生に塾講師を招いて補習を実施している。昨年提案したが公費で講師を招き補習を受けさせる考えがないか再度伺う。

学校教育として違和感があり実施する考えはない。

AQ 木造住宅の耐震診断費用の補助制度があることをどのように町民に周知するのか。

10月より広報紙やホームページで活用の周知を図る。



阿久津則男 議員

- Q** 防火水槽について
町内には防火水槽がいくつあるのか。又、危険と思われる防火水槽はないか。
- A** 540基(常北231基・桂252基・七会57基)あり、70基程度修繕の指摘を受けている。
- Q** 防火水槽・水道消火栓の設置場所の地図は各消防団に配布しているのか。
- A** 常北・桂支団には配布してある。七会支団には早急に作成し配布していきたい。
- Q** 防火水槽の地代の総額はいくらか。
- A** 常北地区160万・桂地区50万・七会地区無償。
- Q** 地代の支払い方が地区によって違うが統一すべきではないか。
- A** 各消防団・区長等と協議しながら検討してまいりたい。
- Q** 七会幼稚園について(休園)
- A** 現在の園舎の管理状況と今後の利用方法は、業者委託で植栽・敷地の草刈りをしており、今後は関係各課で施設利用ができるよう図ってまいりたい。
- Q** 民間に貸し出す考えはないか。
- A** 民間に貸し出す場合、教育財産から一般財産への切り替えが必要で幼稚園廃園も今後検討してまいりたい。
- Q** 学校の防犯カメラについて
設置状況は。又、今後全学校に設置する考えは。
- A** 石塚小と常北中に設置してあり、未設置の11校には防犯センサーで対応しているので設置する考えはない。
- Q** 女性職員が多い常北幼稚園に防犯カメラを設置する考えは。
- A** 現在の所設置する考えはない。



河原井大介 議員

- Q** 拡大する耕作放棄地の実態を把握しているのか。又、どのようにこの課題について取り組んでいるのか。
- A** 耕作放棄地の面積は154ヘクタール。6月から8月にかけて、農地全体の一筆調査を実施し現在集計中。
- Q** 地域経済の活性化を図るために、縦割り行政の認識を変える各課横断型の地域活性化課(仮称)を新設し、幅広い議論をし全庁舎的な情報交換の場を作ってはどうか。
- A** 新しい課を作るということは、今のところ考えていない。
- Q** 「城里町まちづくり基本条例」制定を提案するが。
- A** 町民の行動規範、町民憲章、総合計画等を文言でまとめたものと理解するが今後検討する。
- Q** 学校給食における地産地消の取り組みと、学校、地域での食農教育(体験学習や農村留学等)への取り組みを促進すべきでは。
- A** 地場産品を給食に取り入れるということで現在取り組んでいる。食農教育等については、生活科、総合学習の中で取り組んでいる。
- Q** ホルルの湯の件で指定管理者制度の課題をどう認識し、今後どのような方向ですすめていくのか。
- A** 制度は色々な課題を抱えているのは事実。今後の町開発公社での運営プロセスの中で、コンサルタント等を活用して現状を分析し改善策を見出していく。



南條 治 議員

町の施設について

支所の利用状況は。

A Q

(桂) 1階は支所の事務を。2階は全町を対象とした不登校児のうぐいす学級と広場・防災無線・合併前の文書等の保管場所。周りに図書館、公民館があり総体的に運営できないか現在検討中。(七会) 1階は庶務・住民グループを配置。2階は大小会議室・各種団体等の会議に利活用。旧議場等一部合併関係の書類保管。

A Q

桂診療所・舟渡団地集会所について。

医科診療所・住宅・跡地利用についても白紙。耐用年数の関係で補助金返還問題もあり関係機関と協議中。団地住宅は本年度解体開始。下坪区より集会所使用の要望あり、全棟解体完了まで使用できるように調整を進めている。

A Q

町全体の借地料はいくら。

常北地区200件、金額約1,852万円。桂地区194件、約950万円。七会地区56件、約638万円で総額3,440万円である。

Q

猪害について

町として対応を考える必要があるのでは。

A Q

山間部農家は稲ばかりでなく非常に深刻な状況。

A Q

有害駆除の成果についての調査は。

17年24頭。18年44頭。19年33頭。20年現在40頭捕獲。

A Q

電柵設置補助について。

被害状況も出ており要綱等を作成。事業費の1/3程度を予定している。



杉山 清 議員

資源ごみ持ち去りについて

町の財源確保を担う資源ごみの持ち去りが増えている。

A Q

町の対応策は、空き缶回収条例であるが、リサイクル資源ごみを含めた条例に改正すべきではないか。

A

抜き取りは犯罪行為であり、看板を設置し警察等にパトロールを依頼、町民の善意を無にしないよう、時代に合せた条例に改正していく考えである。

Q

町道改良について

A Q

合併後の町道改良は12路線であり全て完成完了していない。費用対効果を勘案し拡幅工事のみでなく新設も考えては。

A

現道拡幅が適切でない場合もあるので、現地状況を勘案し適切に進めてまいりたい。

Q

住宅密集地や孤立集落の町道改良が進んでいない。災害

や緊急時の対応が危惧されるが、待避が必要な地域に於いては待避所や1.5車線を計画に入れては。

A

現地の状況や地権者の意向を勘案し、手法の一つとして検討したい。

Q

水道設備について

A Q

補助事業の石綿管入替事業は19年で終了し、23年度までの時限事業となった。安全安心と災害対策を考えると早急な入替が必要である。残り8.6kmの事業計画は県に提出済みか。

A

下水道工事と同時入替で、23年度までに3.7kmで、その後は未定である。計画書は県に提出していない。